

令和4年度厚生労働科学研究費補助金(認知症政策研究事業)

併存疾患に注目した認知症重症化予防のための研究

分担研究報告書

認知症者の肺炎

研究分担者 海老原 孝枝 杏林大学医学部高齢医学

#### 研究要旨

誤嚥性肺炎と認知症の関係を調査することを目的として、肺炎発症入院高齢患者のレジストリーを開始したが、本研究機関によるレジストリーは5例にとどまった。

#### A. 研究目的

誤嚥性肺炎を発症する認知症者の重症化予防のため、誤嚥性肺炎・摂食嚥下障害と認知症は関係について、進行の危険因子など両者の双方向性の関連と、両者が並存した場合の治療に関連し注意すべき点を、明らかにする。

#### B. 研究方法

肺炎発症により入院となった、65歳以上の認知症患者の登録を開始した。認知機能の評価方法は、Mini-Mental Scale Evaluation、DBD-13、DASC-21である。

本研究は、代表機関の中央一括倫理委員会審査において研究開始許可を得た後、該当患者およびその家族に、口頭および文書による説明を行い、同意書を取得した。

#### C. 研究結果

肺炎発症により入院となった、65歳以上の認知症患者において、レジストリーを行えたのは5名(男性3名、女性2名、年齢81-93歳、MMSE 0-19点)であった。内、肺炎発症に関連する薬剤を内服していた症例は3名いた。

#### D. 考察

認知症の進行に伴い、誤嚥性肺炎発症や摂食嚥下障害の併存が認められることは確立しているが(ex.Mitchell SL et al. N Engl J Med. 2009)、誤嚥性肺炎発症や摂食嚥下障害の併存が、認知症進行の危険因子になるか、調査した関係報告は少ない。

予備実験データ(40例)においては、どの認知症進行レベルにおいても誤嚥性肺炎発症が認められた。2022年度7月の中央一括倫理委員会通過後の現時点では5例であったため、今後、さらなる登録症例を増やし考察をしていく。

#### E. 結論

登録症例を増やすことが肝要である。

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

①Ebihara T: Comprehensive Approaches to Aspiration Pneumonia and Dysphagia in the Elderly on the Disease Time-Axis. Review. J Clin Med. 2022;11(18):5323. doi: 10.3390/jcm11185323.

②Ebihara S 1, Miura T 1, Yoshida N 1, Nakazawa C 1, Takahashi R 1, Ebihara T (1 Department of Internal Medicine and Rehabilitation Science, Tohoku University Graduate School of Medicine): Sarcopenic dysphagia and aspiration pneumonia in older people. *Geriatr Gerontol Int.* 2022; 22(12):1057-1058. doi: 10.1111/ggi.14503. Epub 2022 Nov 1.

③Ebihara S1, Okazaki T1, Miura H1, Wu X1, Ebihara T. (1Dept. Internal Medicine and Rehabilitation Science, Tohoku University Graduate School of Medicine): Who treats older patients with aspiration pneumonia? *Geriatr Gerontol Int.* 2023;23(3):256-257. doi: 10.1111/ggi.14547.

④海老原孝枝: 高齢者診療の (No.9) 老年症候群 誤嚥. *日本医師会雑誌.* 151 巻 10 号. 1814-1815. 2023.

#### 学会発表

1.海老原孝枝 教育講演 Medical aromathrapy と老年症候群. 第 64 回日本老年医学会学術集会, 大阪、2022 年 6 月 2 日 ~4 日

2.海老原孝枝 シンポジウム 病態時間軸で診る, 認知症者の誤嚥性肺炎・摂食嚥下障害・EOL. 第 41 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2022 年 11 月 27 日.

3.海老原孝枝, 石井礼奈, 小俣朋菜, 十文字奈穂, 内山雅貴, 相馬圭介, 杉町香, 名古屋恵美子, 根本康子, 近藤晴彦, 神崎恒一 大学病院における認知用サポート医活動と入院認知症患者の多病性について. 第 41 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2022 年 11 月 26 日.

4.杏林大学医学部附属病院 認知症ケアサポートチーム 石井礼奈, 海老原孝枝, 小俣朋菜, 十文字菜穂, 内山雅貴, 相馬圭介, 杉町香, 名古屋恵美子, 根本康子, 市村正一: 大学病院における認知症サポートチーム活動の現況. 第 64 回日本老年医学会学術集会, 大阪, 2022 年 6 月 2 日.

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

##### 1. 特許取得

第3762969号 嚥下障害剤、  
第4889270号 低栄養状態にある患者の食欲不振改善のための薬剤

##### 2. 実用新案登録 なし

本分担研究者は、2022 年 12 月 25 日より病  
気療養中である。(入院は 2023 年 2 月 27 日  
~)